

旭川医科大学 二輪草センター
(復職・子育て・介護支援センター)



二輪草だより

平成21年11月号
発行:二輪草センター

第14回日本看護サミット北海道'09参加報告 二輪草センター活動を紹介

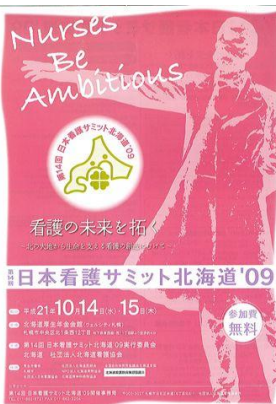
上田順子 看護部長

10月14日・15日の2日間、第14回日本看護サミット北海道'09が北海道厚生年金会館にて開催されました。「看護の未来を拓く」をメインテーマに 看護教育の改革、新人看護職員の臨床研修の制度化、看護の専門性、働き続けられる職場環境、僻地における看護職の役割拡大など看護職のもつ課題について話し合われました。分科会Ⅲのテーマ「働き続けられる職場環境の創造に向けて」では、本学の二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)の活動を紹介しました。その一部を報告します。

バックアップナースシステムは、子育て中の看護職の「子どもの急病時に休まなければいけない」という悩みに対して、「病気の時こそ休暇を取り、子どものそばで付き添ってもらおう」という発想の転換から誕生しました。このシステムは、休暇を取ることが目的ではなく、看護職がワークライフバランスを保ち、キャリアを中断させずに働き続けられるよう環境を整えることを支援するものです。2人のバックアップナースは、子育ての先輩として子育てと仕事を両立している若いスタッフの助けになりたい、仕事を続けてもらいたいという思いで代理の勤務をしています。いろいろな部署を回することで看護観が拡がり、プラスの効果を実感しています。また、他スタッフからも看護のジェネラリストとしてバックアップナー

スの存在が多様な勤務形態の選択肢の一つになっているようです。一方、育児休業中の看護職を対象とする復職支援5段階教育プログラムの実施は、スムーズな職場復帰を支援し、働き続けられる環境づくりとして重要な取り組みです。職場適応支援担当師長が中心となり研修を実施し、これまでに23名の看護職が終了して現場に復帰し、育児休業中の9名が復帰に向けて研修中です。研修を通して看護技術や知識の習得だけでなく、同時期に復帰する仲間と情報交換でき、将来の方向性を考える機会にもなっています。

今回、サミットに参加する機会を得て、これからも常に現場の声を大切にして、子育てや介護に限らず、ひとり一人が働き続けたいという意欲をもてるように支援したいと強く思いました。



冬休みキッズスクール開催のお知らせ

日時:平成22年1月6日(水)~8日(木) 3日間

学童保育サポートの一環として冬休みもキッズスクールを行います。楽しい企画がたくさんありますので、皆様のご参加をお待ちしています。詳細は、ポスター、HPをご覧ください。

6日
・特別授業
「予防が大切!
~冬を楽しむための
風邪対策~」
森 浩美先生
・制作活動

7日
・学生による活動
・ゲーム大会
・職場体験(高学年)
・おやつ作り

8日
・工作教室
小林 みのり先生
・雪中運動会
・ロールサンド作り

11月9日(月) 午後6時より第9回二輪草セミナーが開催され、22名が参加しました。講師に旭川圭泉会病院 居宅介護支援事業所圭泉会ケアセンター管理者兼主任介護支援専門員の尾崎孝志氏をお迎えし、「介護保険サービスの基礎知識」という演題で、旭川市で発行されている資料(いきいき長寿~高齢者の保健・福祉・介護~)を基にご講演頂きました。

内容は、①要介護認定について②居宅サービスの利用限度額について③介護保険で受けられるサービス内容について④総合相談窓口「地域窓口相談センター」についての4点です。

介護認定を受けるためには、手続きに1ヵ月~1ヵ月半もかかること。病気治療が終了し退院後に介護サービスにスムーズに移行するためには、医師と相談し早めに手続きを行うと本人だけではなく家族にとっても負担が軽減されること。又、居宅サービスでは、要介護度に応じて利用できるサービスの限度額が1ヵ月ごとに決められていて、そのうちの1割が自己負担になることについてお話頂きました。利用限度額を超えてサービスを利用した場合、超えた分全額が自己負担となってしまうそうです。居宅サービスでは、同居の家族がいる場合、その家族が病気または、障害があるなどの例外を除いては、家事援助を受けることが困難である事、家事援助を受けられた場合でも1時間以上は組めず、次にお願ひするのも2時間空けなければならないなど使いづらい状況であることを知りました。その他、家事援助をしてもらう程でもないが、見守っていてほしいということもあると思いますが、見守る援助はしていないということでした。介護用品(介護ベッド・車椅子など)については借りられるサービスもあり、必要に応じて使用できるようです。最後に、包括支援センターのことに触れ、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師が連携して、相談に乗ってくれる窓口が旭川市内でも 9箇所あることを教えて頂きました。

介護保険サービスと聞くと、複雑で難しい制度という先入観がありましたが、大変わかりやすく丁寧にお話を頂き、本日参加された皆様も参考になったのではないかと思います。お忙しい中、講師をお引き受けいただきました尾崎様にこの場をおかりして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、今回セミナーで頂きました資料は二輪草センターにございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

病児一時預かり室・バックアップナース利用状況 【10月20日~11月20日までの利用状況】

病児一時預かり室	登録者	29名	利用回数	1回
バックアップナース			稼働回数	15回

* 病児一時預かり室は全職員がご利用になれます。

◆今後の日程◆

- ◆ 12月1日(火)病後児保育室開設記念「イブニングセミナー」開催
- ◆ 12月16日(水)病後児保育室事前登録開始(午前10時~午後5時)
- ◆ 12月22日(火)病後児保育室見学会(午前10時~午後3時)
病後児保育室開設記念式典(午後5時~)
- ◆ 12月23日(水)祝日
- ◆ 12月24日(木)病後児保育室お預かり開始

二輪草だより・その他のお問い合わせ

旭川医科大学 二輪草センター
(復職・子育て・介護支援センター)
〒078 - 8510
北海道旭川市緑ヶ丘東2条丁1目1-1-1
TEL: 0166-69-3240 (サンニンヨレ)
FAX: 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

二輪草だより掲載記事は、ホームページからより詳しい内容をご覧ください。

今月の川柳テーマ「誕生」
「誕生日 今年もやっぱり忘れてた」(投稿者 倦怠期妻)
「産声を聞いて苦労も喜びに」(投稿者 祝病後児保育室)
皆様からの投稿お待ちしております。来月のテーマ「クリスマス」(締め切り12月20日)

